

令和4（2022）年度 全国学生調査（第3回試行実施）
本学回答まとめ

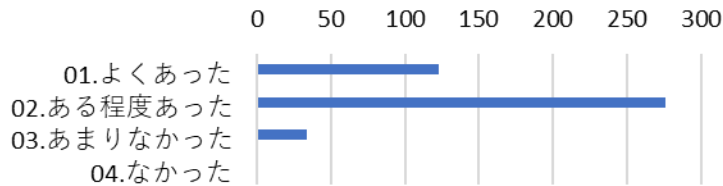
高等教育推進センター

回答状況

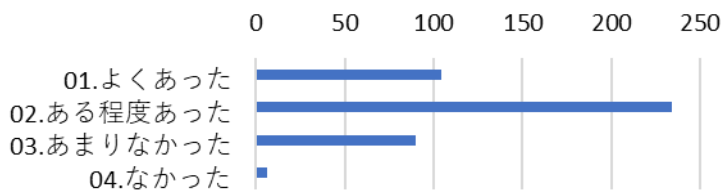
学部名	2 年生			4 年生			合計		
	在籍者数	回答数	(率)	在籍者数	回答数	(率)	在籍者数	回答数	(率)
総合福祉学部	616	107	17.4%	692	90	10.0%	1,308	197	15.1%
総合マネジメント学部	203	21	10.3%	233	11	4.7%	436	32	7.3%
教育学部	252	72	28.6%	275	60	21.8%	527	132	25.0%
健康科学部	253	49	19.4%	256	24	9.4%	509	73	14.3%
計	1,324	249	18.8%	1,456	185	12.7%	2,780	434	15.6%

問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。
(選択肢：①よくあった、②ある程度あった、③あまりなかった、④なかった)

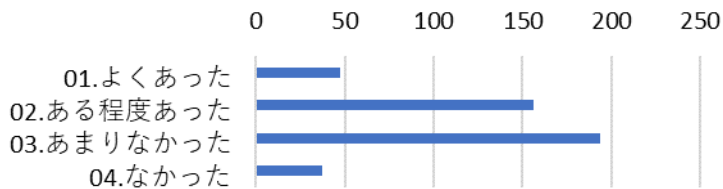
4. 授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれる。



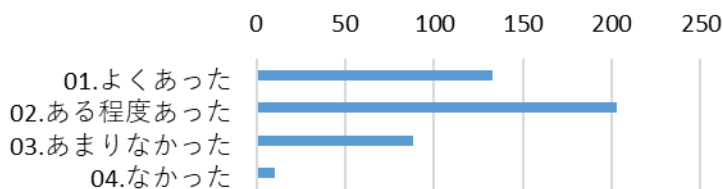
5. 予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される。



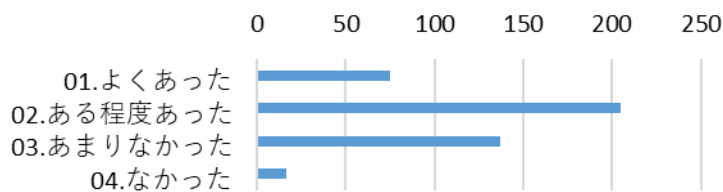
6. 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される。



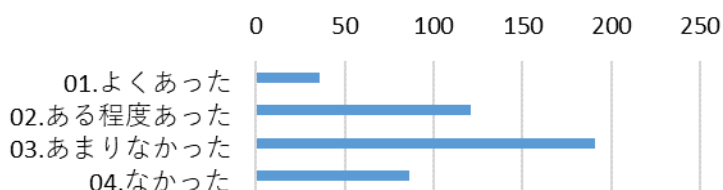
7. グループワークやディスカッションの機会がある。



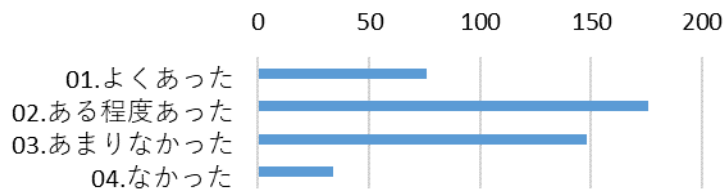
8. 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある。



9. ティーチングアシスタントなどによる補助的な指導がある。

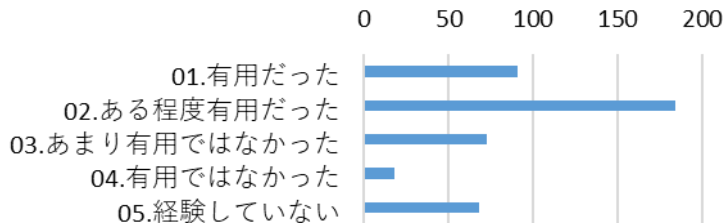


1 0. 受講者数が概ね20名以下の少人数で実施される授業の機会がある。

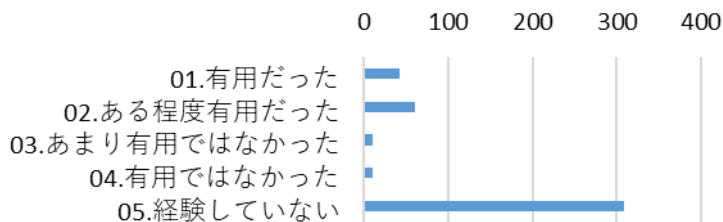


問2 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。経験していない場合は⑤を選択してください。（選択肢：①有用だった、②ある程度有用だった、③あまり有用ではなかった、④有用ではなかった、⑤経験していない）

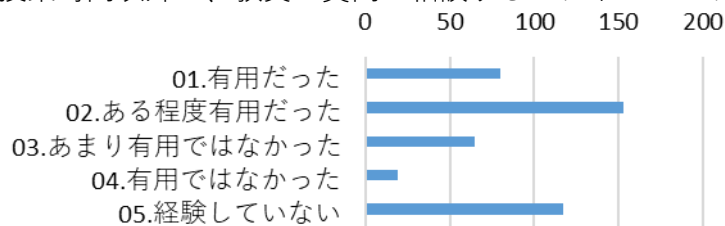
1 1. 大学での学習の方法（スタディ・スキル）を学ぶ科目



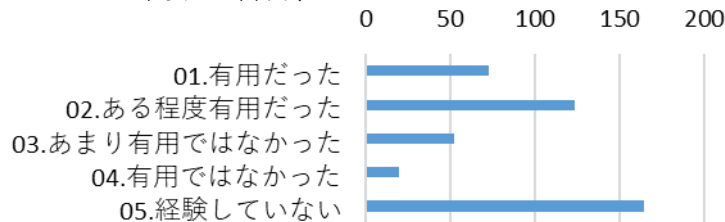
1 2. 卒業論文・卒業研究・卒業制作などの教育（Q3で2年生を選択すると非表示）



1 3. 授業時間以外で、教員に質問・相談するオフィス・アワー



1 4. キャリアに関する科目、キャリアカウンセリング



1 5. インターンシップ（5日間以上）



1 6. 海外留学・海外研修（短期留学も含む）



1 7. 海外の大学等が提供するオンライン授業（オンライン留学等）



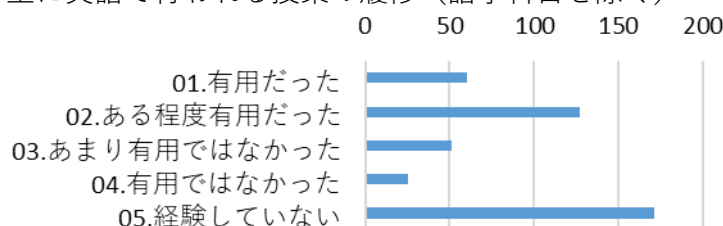
1 8. 学内で自分と異なる文化圏の学生と交流する機会



1 9. 図書館やラーニングスペースなど大学施設を活用した自主的な学習



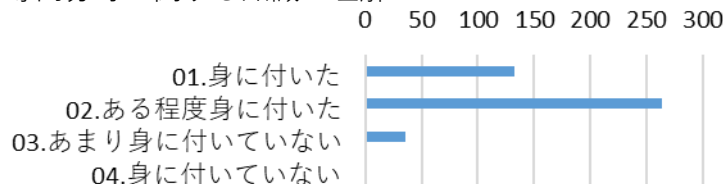
2 0. 主に英語で行われる授業の履修（語学科目を除く）



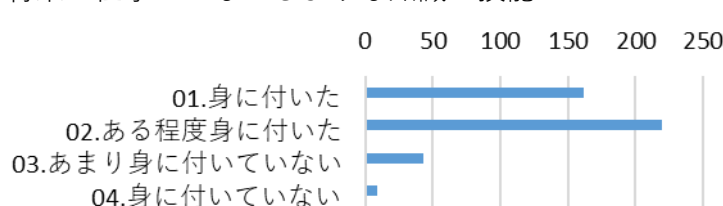
問3 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。

（選択肢：①身に付いた、②ある程度身に付いた、③あまり身に付いていない、④身に付いていない）

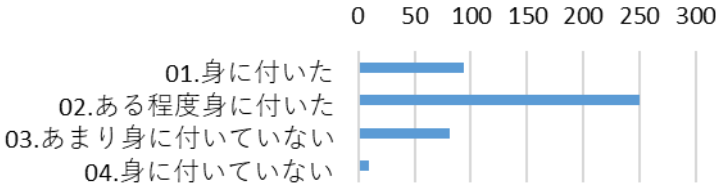
2 1. 専門分野に関する知識・理解



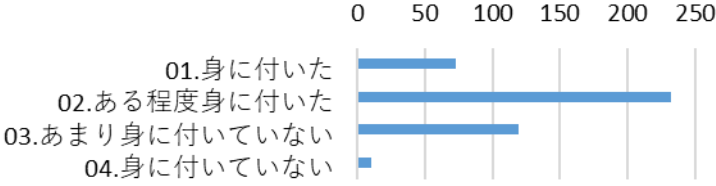
2 2. 将来の仕事につながるような知識・技能



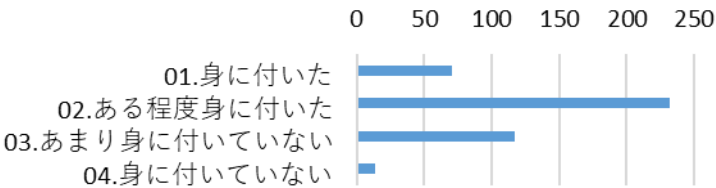
2 3. 文献・資料を収集・分析する力



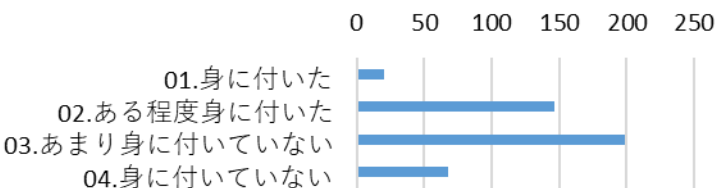
2 4. 論理的に文章を書く力



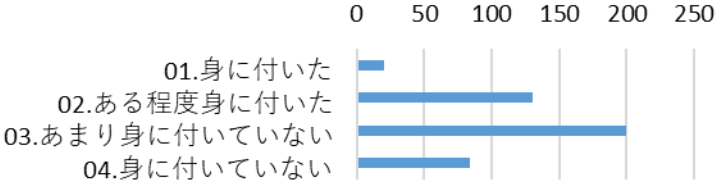
2 5. 人に分かりやすく話す力



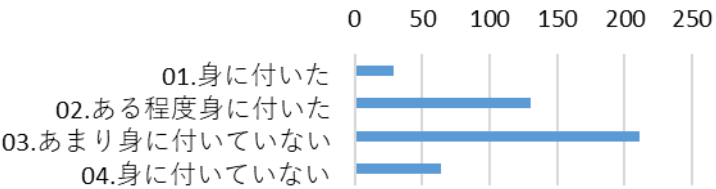
2 6. 外国語を読む力・書く力



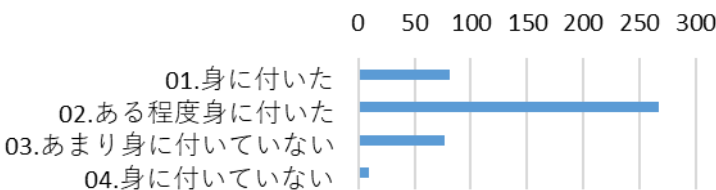
2 7. 外国語を聞く力・話す力



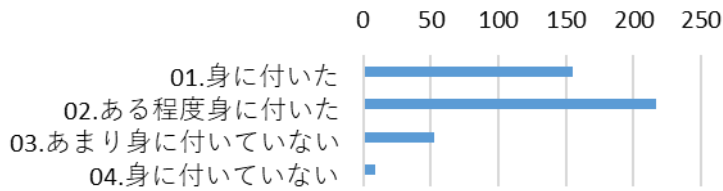
2 8. 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能



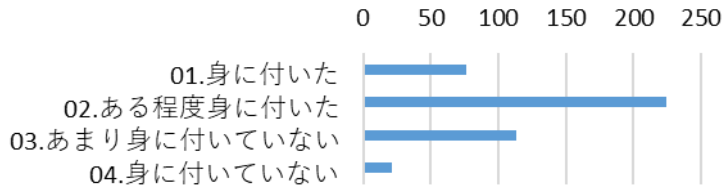
2 9. 問題を見つけて解決方法を考える力



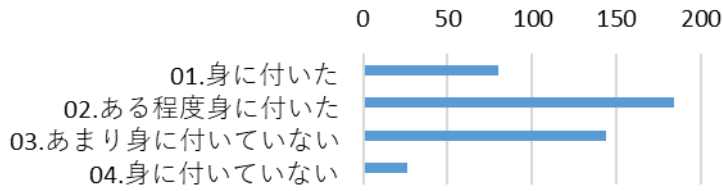
3 0. 多様な人々の理解を得ながら協働する力



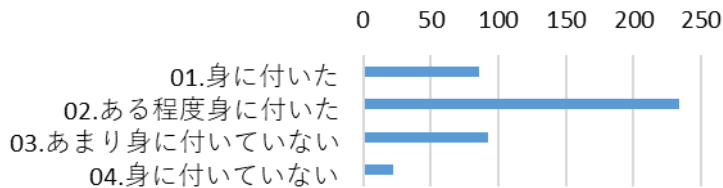
3 1. 文理を超えた幅広い知識、ものの見方



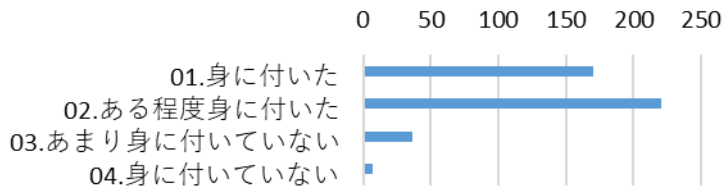
3 2. 異なる文化に関する知識・理解



3 3. 知識やスキルを活用して一つのものをつくり出す力

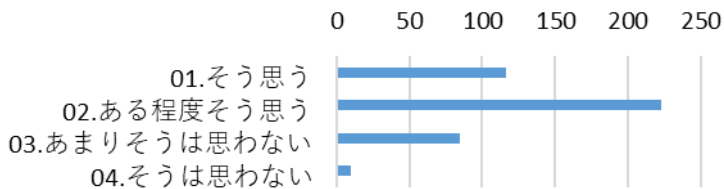


3 4. 社会的責任や倫理観



問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。
(選択肢：①そう思う、②ある程度そう思う、③あまりそうは思わない、④そうは思わない)

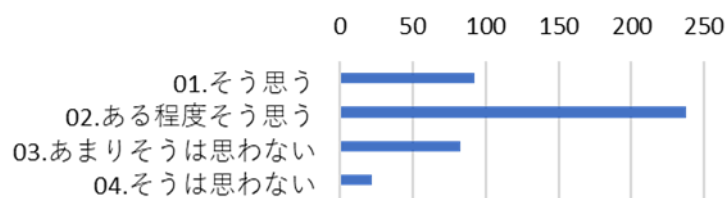
3 5. 大学が学生に卒業時まで身に付けることを求めている知識や能力を理解している。



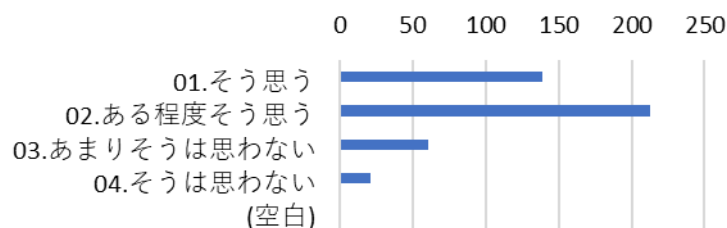
3 6. 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。



3 7. 教職員が学生と向き合って教育に取り組んでいる。

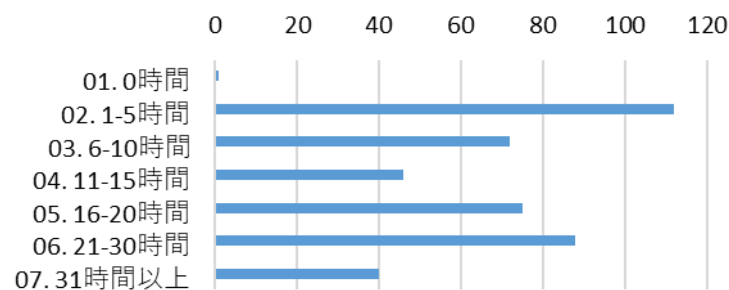


3 8. 大学での学びによって自分自身の成長を実感している。

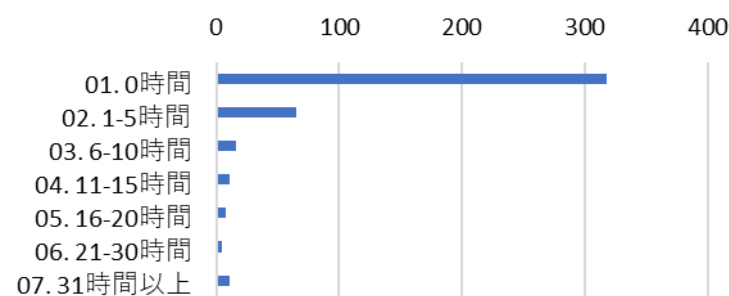


問5 今年度後期の授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか。
（選択肢：①0時間、②1-5時間、③6-10時間、④11-15時間、⑤16-20時間、⑥21-30時間、⑦31時間以上）

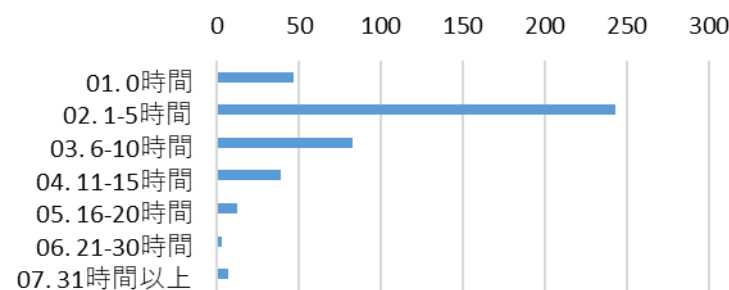
3 9. 授業への出席（実験・実習、オンライン授業を含む）



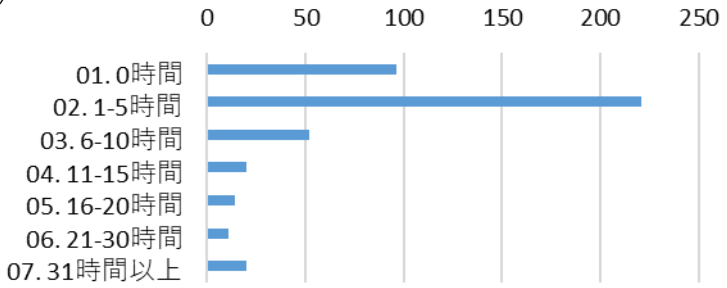
4 0. 卒業論文・卒業研究・卒業制作（Q3で2年生を選択すると非表示）



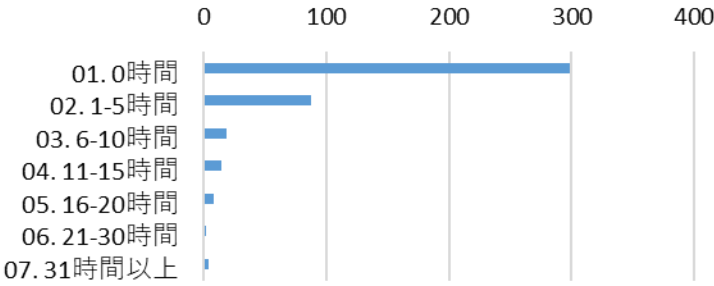
4 1. 予習・復習・課題など授業に関する学習（卒業論文等は除く）



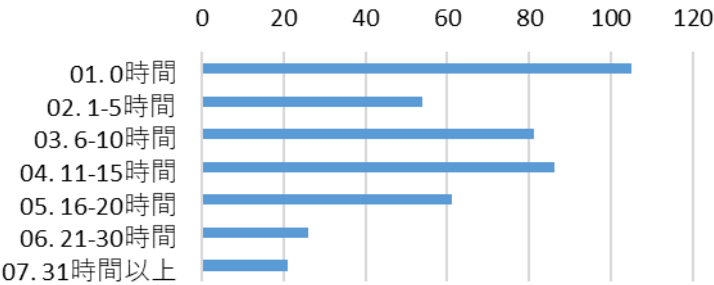
4 2. 授業と直接関係しない自主的な学習（学問に関する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等）



4 3. 部活動／サークル活動

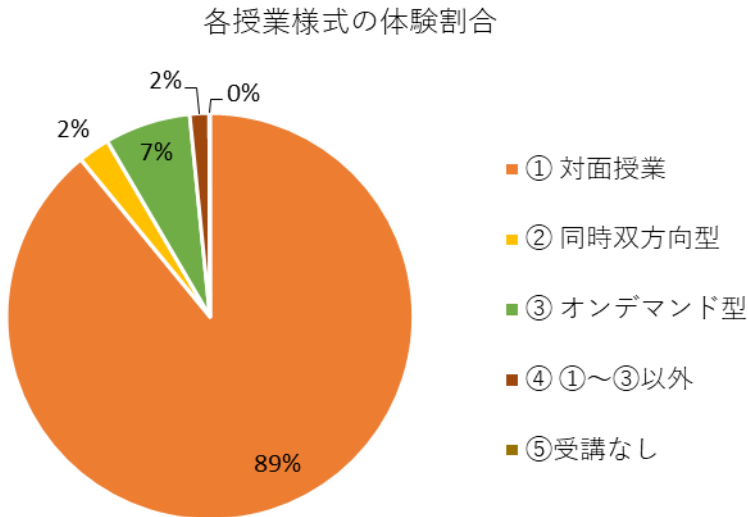


4 4. アルバイト／定職

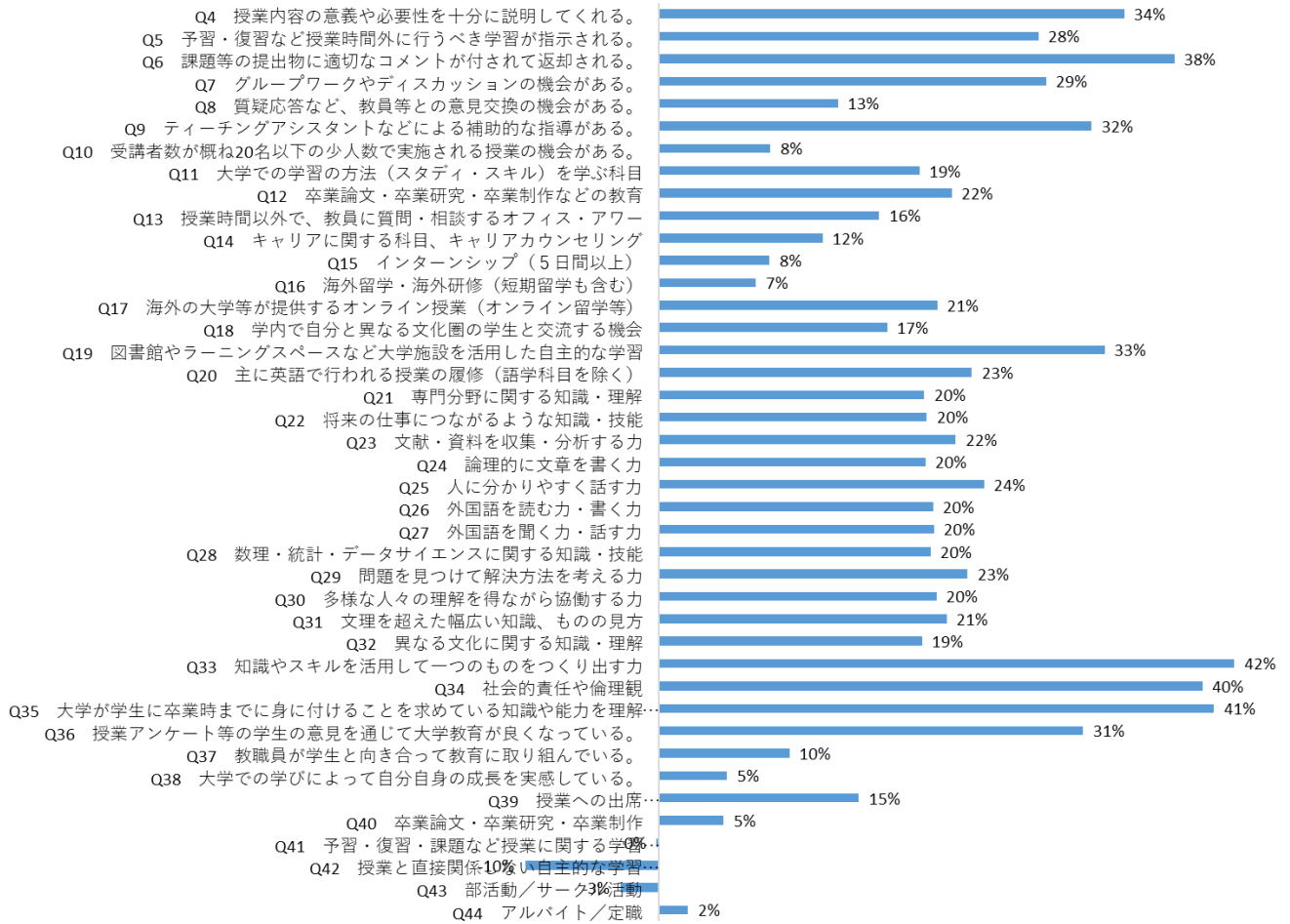


問 6 今年度に受けた授業の受講形態のうち、次の割合はそれぞれどのくらいでしたか。

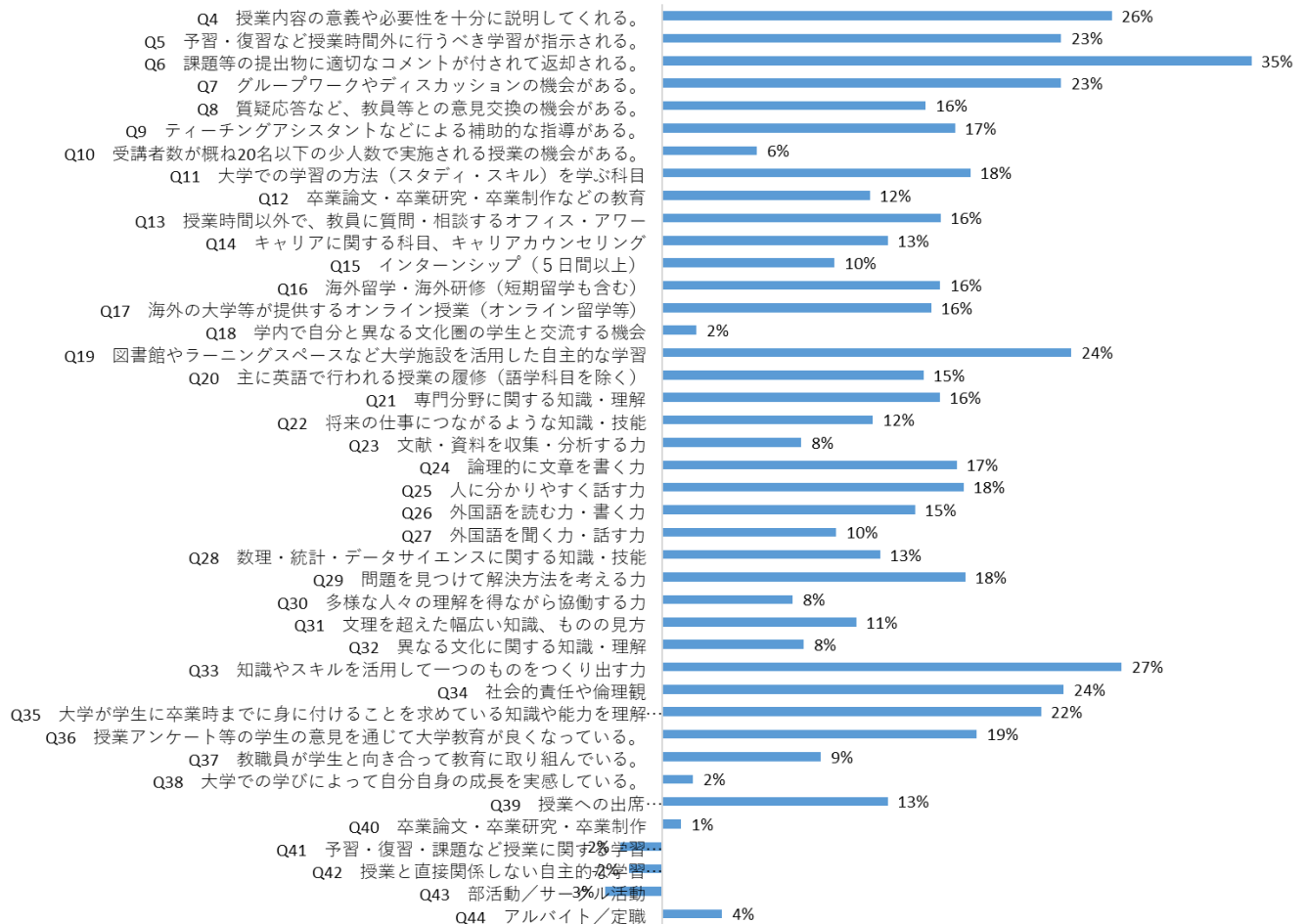
- 4 5. ①対面授業の割合
②同時双方向型オンライン授業の割合
（教員や他の学生と同時かつ双方向に質疑やディスカッションが可能な授業）
③オンデマンド型オンライン授業の割合（あらかじめ録画された映像等を使用した授業）
④インターンシップ、校外実習など①～③に該当しない授業の割合
⑤今年度授業を受けていない



学部（学科）との相関



学年との相関



相関があると考えられる項目

85%	Q25 人に分かりやすく話す力	Q24 論理的に文章を書く力
73%	Q38 大学での学びによって自分自身の成長を実感している。	Q10 受講者数が概ね20名以下の少人数で実施される授業の機会がある。
68%	Q20 主に英語で行われる授業の履修（語学科目を除く）	Q19 図書館やラーニングスペースなど大学施設を活用した自主的な学習
63%	Q14 キャリアに関する科目、キャリアカウンセリング	Q15 インターンシップ（5日間以上）
63%	Q22 将来の仕事につながるような知識・技能	Q21 専門分野に関する知識・理解
63%	Q22 将来の仕事につながるような知識・技能	Q23 文献・資料を収集・分析する力
58%	Q31 文理を超えた幅広い知識、ものの見方	Q28 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能
58%	Q35 大学が学生に卒業時まで身に付けることを求めている知識や能力を理解している。	Q34 社会的責任や倫理観
55%	Q36 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。	Q35 大学が学生に卒業時まで身に付けることを求めている知識や能力を理解している。
54%	Q28 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能	Q27 外国語を聞く力・話す力
54%	Q31 文理を超えた幅広い知識、ものの見方	Q27 外国語を聞く力・話す力
52%	Q28 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能	Q23 文献・資料を収集・分析する力
52%	Q29 問題を見つけて解決方法を考える力	Q28 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能
52%	Q36 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。	Q19 図書館やラーニングスペースなど大学施設を活用した自主的な学習
52%	Q36 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。	Q33 知識やスキルを活用して一つのものをつくり出す力
51%	Q27 外国語を聞く力・話す力	Q23 文献・資料を収集・分析する力
51%	Q31 文理を超えた幅広い知識、ものの見方	Q29 問題を見つけて解決方法を考える力
-58%	Q44 アルバイト／定職	Q43 部活動／サークル活動

4 6. 本調査や、大学での学びについて意見がありましたら教えてください。（自由記述）

- ・本大学では課題に対するフィードバックが少ないように感じる。課題に対する良い点、悪い点についてコメントをして頂きたい。
- ・本学は多学部多学科が特徴であり、資格が数多く取れる大学だと認知しておりましたがいざ入ってみると知らない情報がたくさんあった。そのため悩むことが多くある。
- ・分かりやすく、生徒を引き付けるような講義をしてくださる先生もいらっしゃいますが、ダラダラ教科書を読むだけで中身の無い授業をする先生もいらっしゃるのを改善していただけると嬉しいです。
- ・中途半端な感染対策が授業の満足度を大幅に下げている。（あまり効果のないフェイスシールドやパーティションでコミュニケーションを取りづらい）
- ・大学教育の改善も大切だと思いますが、学費の負担をもっとしてほしいです。学費の安い国公立大学に入学している人は結局家庭が裕福な人が多いと思います。大学に行きたくてもいけない人や奨学金を多く借りている人が行っている大学は学費の高い私立大学が多いはずで。コロナ禍で、オンライン授業に切り替えになり、大学に行くことができなくなりました。それなのに、施設費はコロナ前と同じ金額を支払わなければならない、施設費を支払わずに済めば、奨学金の額を下げることができました。学業の時間を削ってまでアルバイトをしてお金を稼ぐ必要がある人も中にはいるはずで。これは大学教育の改善以前に教育の格差があります。私自身も奨学金を借りていますが、結局将来自分の借金となります。卒業した時点で、奨学金を借りていない人と借りている人のスタート地点がすでに違います。学を推奨するお金なら、全て給付型にしてほしいです。それか、お金を借りてまで行こうと思える、希望を持ち続けられる大学にしてほしいです。私は4年生でもう卒業ですが、大学生は自由に使える時間が比較的多いです。友達と遊びに行ったり、資格を取ったり、好きな本を買ったり、ボランティアに行ったりなど、学費の他にたくさんお金がかかります。遊ぶことでも学ぶことがたくさんありますし、余裕がない大学生に自由をください。家庭の経済状況関係なく、学びたい人が何も心配せずに学ぶことができる環境を整えてほしいです。
- ・大学は学びというより先生が知識をひけらかして満足しているところだなんて思った 俺らの意見聞こうとしない 聞く人も中にはいますが。無償にしてください。
- ・大学の学びの質が高く感じられないため、大学への通学が免許取得の手段でしかない。取得の手段が多様化されることを切に願う。
- ・大学に入る前は授業に必要なプリント等大学で印刷したりできるなどお金がかからないと聞いていたが、いざ使おうとしたら何のために使うのかそれは教授からの指示があったのか証拠を出せ等と必要なものをコピーするだけなのに色々しなければいけないことが増えて気軽に使えなくなってしまった。
- ・大学での学びには、取る教科や先生によって得られる知識・技術が大きく異なる。せめて、同じ科目に関しては同じ内容を取り扱ってほしいと思う。
- ・対面の必要性がない授業はオンデマンド授業にしてほしい。
- ・対面だけでなくオンデマンドにはオンデマンドの良さがあるからコロナ禍に問わず取り入れていくべき
多学部多学科の大学であり、様々な知識や視野を広げられるとのことであったが、通常通り授業を受けている形では他学部とのかかわりが全くない。しかも、同じ建物同じ教室に一日中いることが多いため、キャンパスライフを感じられないことが多い。授業外でサークル活動を通してのつながりはあるが、学部学科同士のつながりが無いため少々残念。
- ・生徒の意見が授業に反映されない。
- ・生活に支障をきたすほどの課題が一度に一つの科目で出されていて困る。
- ・成長を感じることができました。

・図書館の時間をもっと長くして欲しい日曜日も営業して欲しい。学食の時間を長くして欲しい。朝食を復活して欲しい。情報センターの印刷出来る範囲を増やして欲しい(もっと気軽に、印刷できるものの認定が厳しすぎる)。構内にプリンターを設置して欲しい(USBをさせるやつ)。

・授業内でしっかりと学習の時間を設けず、尚且つ配ったプリントの読み方を教えないで課題に取り組ませ、その状態で回答を一人一人言わせるというものがありました。そして分からない場合、一生徒が分からないと言うと分からないじゃない、なんで分からないなどの軽く叱責するというものがあった。また授業内でスライドで答えを映し、それを紙などに写させる授業があったが、あまりにもスライド切り替えが速すぎて学習が出来ない。また、これが学習になっていると感じませんでした。

・授業に関するアンケートは各学期ごとに実施されるが、大学の教務をはじめとした運営に関する不満を伝える機会がない。

・授業についての質問をしてもあやふやにする教員がいて、質問も次回答えるなどもなく流している。課題を出すのはいいが、生徒のことや、都合も一切考えずに、授業が終わって**30分**後が期限の課題を出す教員もいる。次の授業がある人だったり、家まで距離がある人などだと、課題を出すことができなく、配慮が足りない教員が多い。

・社会人基礎力を養うため、学ぶための学習があってもいいのではないかな。

・実用的な英語の授業を増やしてほしい。

・質問や、連絡をしても返信してこない教員がいるのがとても不愉快だ。

・私立の学校のため年間の学費が高額な割に、長期の休みが長いため、年間を通して半年分くらいしか学校に行っていないような気がします。その他に実習費などがかかるためちょっともったいないような気がしてしまいます。

・四年という時間を通じて時間と自由が与えられる大学生活はとても素晴らしいもので個人個人が志したものであればそれぞれの道で自発的に行動できるため、ある程度の自分の軸（やりたいこと）は少し持っておいたほうがいいことがわかりました。

・計画性が見られない授業で、急な先生の思い付きによって毎週あまりにも多すぎる課題が課されがち。計画性を感じられる先生の授業では生徒の力になるような内容、量の課題が課される。課題の目安は設定しないのか。

教員との面談の位階が少ないと感じる。教員にアポを取ってまで相談しに行くほどではないと思い、ほとんどの悩みをそのままにしてしまう。

・学費の分だけ還元されていると感じる機会が少ない。

・学生生活支援課が全く親切では無い。学校へなにか意見をしたい時も匿名では出来ないため、なにか意見があっても何も改善されない。高圧的な態度で話してくる人がおり、本来の目的があっても近づくにくい。

・学生にわかりやすく教えようと努力していない教授が少々見受けられる。真面目に授業を受ければ受けるほど馬鹿らしいと思う瞬間が沢山ある。とにかく質の悪い授業を減らして欲しい。

・改めて振り返ることが出来ました。

・我が校には他大学にあるいわゆる学友会のような、学生主体の大学運営に関する団体が無いため、なにか大学の対応に関して不満点があってもそれを伝える所も無いし伝えて反映してくれる整備も無い。大学からは学生に対して指導はあっても、学生から大学に対して働きかけられないのは、高い学費を払ってる分不公平に感じる。しかし、学友会等組織をどうやって作ろうかと考えても、組織を作るためにも結局は大学に訴えなければならないが、どこに訴えれば良いのかもわからない。大学の学びに関して不満を感じている学生は多いが、こうした意見を反映させられるところが無い我が校は、ずっとこのまま外ズラだけ良いような学校になり、学生は不満が募るのであろうと感じる。

・課題に対するフィードバックが欲しい。授業内容を正確に理解できているのかわからないことが多い。

・課題が多すぎます。そんなにできません。

・英語で授業を受けたい。

・リハ学科の環境があまり整っておらず、学食や勉強スペースの充実をして欲しい。

- ・もっと学生へのコロナの配慮をしてほしい。大学へ行きづらくなる。
 - ・もうすこし生徒の意見や考えを聞いて欲しい。学びたい外国語があったのに、抽選でおち興味のない外国語を学んでることに意欲も湧かないのでやりがいがない。
 - ・ほとんどの授業が学びに繋がったと感じていますが、授業をこうしてほしいと学生が感じていることを教員に伝える機会や雰囲気がなく、授業改善をしてほしいと思うものがいくつかあったため、学生の素直な気持ちを授業にしっかりと反映してほしいと思いました。
 - ・テスト範囲を1週間前でなく2週間前に教えて頂きたいです。
 - ・たくさんのことを学びました。
 - ・そもそも先生側が、自分の授業に改善点があると思っていない授業もある。学生は特に授業について何も考えていないと思う。
 - ・コロナ禍でオンラインでの授業の進め方や有用性を経験したにも関わらず、無理にでも対面にこだわり、人が多く、密になるような教室でも対面授業をしたり、台風や爆破予告の際にも対面授業を強行したことが目立ち、それに対する生徒の意見も気にされてないようだったことが気になった。
 - ・コロナの感染者が増えていたりして、体調を崩して授業を受けられないこともあるため授業のレジュメはオンラインで公開してほしい。
 - ・コロナのせいか換気のために窓を全開にされていて寒くて講義に集中できません。
 - ・コロナウイルス感染者が多く出ているのに、教室が埋まる・埋まりそうなくらいの人数が受けている授業を普通に行くことは怖いので対策をしてほしい。教室を変更する、難しいのならオンデマンドへの変更もやむを得ないのではないかと考えます。対面で学べることはうれしい部分もありますが、人数が多い授業ほど構内のコロナウイルスの蔓延が深刻化しているにもかかわらず、学生の自己管理に任せて、感染対策が不十分なまま平気で対面講義を行うのはいかがなものかと思う。
 - ・ゴミ大学です。
 - ・オンライン授業を増やしてほしいので、オンライン授業に関する質問をもっとほしい。
 - ・オンライン授業の際の学費の支払いは通常の対面講義の授業料より安くしてもいいのではないかと感じました。
 - ・オンライン講義の内容に差がある。例えば、資料提示型のみ、課題のみ、動画配信型等。ポイントになる部分は独学になっていた。 コロナについての指針は大学で提示があるものの、教授によって変わることになった。
- オンライン関連の手続きについて大学の体制整備が追いついてないと感じる部分がある。改善の傾向はあり。
- ・オンデマンド講義で数年前の音声も映像も不鮮明な公演の動画をアップするだけの教授、教科書をただ音読しマーカーを引かせるだけの教授、講義全てを学生のグループ発表に設定し、自分はただ聞いているだけの教授、講義中教科書も指定せず板書もせずプリントも配布せず一方的に話し、メモをとらせる教授、滑舌が悪くボロボロと話すため聞き取れないのにも関わらず話した内容をメモしてないと点が取れないテストしか作らない教授、4年間でこれはひどいと感じた教授の態度です。
 - ・オンデマンドにしてほしい。
 - ・ある1人の教員が厳しく、気軽に相談したりできる雰囲気がなかったのが残念だった。
 - ・あまり積極的な性格でないため、もう少し先生と話し合える機会を授業の前後等に設けてほしい。
 - ・学生に対し、パワーハラスメントととれるような内容の授業動画をアップし、授業への参加意欲を減退させているものがあった。
 - ・考え方が古い先生がいるのだが、その人が一方的に自分の考え方を貫こうとしている。
 - ・2年生は中だるみの学年であると偏見を持ち、積極的な態度で授業に参加しているのに、参加意欲を減少させる言葉づかいで講義をしていて、気分が悪くなった。

- ・授業のマイクの音量がうるさくて頭が痛くなる。

- ・大学で学ぶ中で、教職員の方々が情報を共有していなかったり、教員や学生の意見を聞いてくれないうちに代わっていることなどがあり、苦勞することがあった。一部分の職員だけで決定はしてほしくない。環境が整備されることでより、学びに集中できると思うので、学生や教職員の意見が反映されるような仕組みやシステムを設定してほしい。

- ・教育学部での学びが薄すぎるように感じる。いざ現場で教員として仕事をしていくためには、現状のような座学メインの講義スタイルでは、務まらないのではないかと危惧している。もっと現場で役立ち、即戦力となりえるようなことを学びたいのが教育学部生としての本音である。座学でできるならすべてオンライン講義にしてもよいのでは？と思う。対面抗議でのメリットを生かして、実践的な事を教示して頂ければよいのではないか。

また、大学内で履修単位制限をしているため、学びを阻害しているのではないかと感じる。他大学では初等教育と中等教育の教員免許を両方取得することが可能であるが、前述したように単位制限をしていることや、どちらか一方の免許状しか取得を可としていない大学の方針によって教員の選択肢が減らされていることは疑問に感じる。どちらの免許状も魅力的で、両方とも教員として経験したいといった学生も多くいます。他大学のように両免許取得できるように改善していただきたく思います。